

活動名：第9回常葉カップフットサル大会 U10

日程：令和3年1月19日（土）

会場：田村市常葉体育館

参加：4年生9人

帯同：設楽、貝和コーチ

結果：準優勝/8チーム中

予選リーグ

VS 小野FC 5:2 ○

VS 船引SSSB 9:0 ○

VS 常葉SSS 12:0 ○

決勝戦

VS プレイブ守山 1:2 ●

報告：設楽

令和3年となりお正月明けて合同練習も無く直ぐの大会、参加した子どもたちは初蹴りとなり、またコロナ感染拡大が心配される環境の中、関東は国からの緊急事態宣言を受け、大会を準備されてきた常葉SSSさんもこの大会の開催実施に戸惑いがあったと思います。

主催していただいた常葉SSSさんに感謝いたします。

アーレとしても保護者の方々のご理解とご協力を受け、出場できたことを嬉しく思います。今となっては2月7日までの活動自粛となり、初蹴りから活動休止と気持ちが不安定になりますが、今はじっと我慢してコロナ感染予防対策の徹底と活動再開に向けた自主トレに励んで欲しいと思います。

さて、4年生男子全員が参加でき、各自のクラスは2クラス（Eクラス・L100クラス）に分かれて日々活動していますが、この個性豊かな個人技のある選手達に期待をして、みんながいつも目標にしている「優勝」を目指し挑みました。

4年生以下（U10）の大会は、他チームでは3年生以下も一般的に居るので、やはり4年生のみで出場したアーレ選手達には優位に戦うことができ、予選の相手チームは低学年を含めたメンバー構成でしたので、圧倒的な勝利を収めることが出来ました。

決勝戦に進出しましたが、相手チームはフットサルの戦い方を練習しているような女子を含めたメンバー構成のプレイブ守山さんでした。自分たちが終わった後に最終戦をしていたので、選手達にはしっかり観戦するように伝え、それぞれ真剣に試合を観ていました。

決勝戦に挑む準備もでき、いざ試合へ・・・

試合は8分ハーフと短いため、試合前のアップなどの準備は非常に大事でした。選手達は真剣な姿勢でアップをし、今度こそは「優勝」する意気込みでいました。試合の入り方も良く、スライディングシュートの先制点を決めて優位に進めましたが、ゴール

前でのお見合い DF で相手にシュートを決められ同点、後半に入り失点して逆転され、その後は猛攻撃を仕掛けましたが時間オーバーで、またしても「準優勝」の結果となってしまいました。

私が帯同してきた大会では、優勝できない最終結果が続いていますが、試合内容や選手個々の技術は優勝するチームには負けていないのですが、試合運びや勝ち方が知らないで、試合を多くしているチームには負けてしまいます。しかし、アーレはずっとこの活動で練習を中心に指導してきているので、卒団して次のステージでは他の負けたチームの子どもたちに劣ることはなく主力として、しっかりと技術をもってサッカー人生を歩んでいます。

今まで負けたチームには、6年生の最上級生で「倍返し」できるように、またトレーニングをしていければと思います。

大会では GK 役を決めるのが苦勞するこの学年です。今回も GK ポジションができそうな子を勝手に選出してみんなのためにやって欲しいとお願いして試合をしているので、GK のミスなどは責められないですし、シュートを打たれたら防いでくれる期待もできないので、とにかくシュートを打たせない DF に重点をおくしかありません。こんなポジションが常に代わり試合に挑む選手達の順応性には毎回関心します。いろんなポジションを経験することはジュニア年代では今後のサッカー人生において大事な成長の糧です。他のチームではよくポジションが決められてしまうことを聞きます。攻めや守り、GK をアーレで経験して、次の中学生サッカーで自分のポジションを確立して行ってほしいですね。

大会を通して強化が必要な技術があります。

○ボールの奪い方

足先だけで相手のボール突っついて取れません。怖がらずにカラダを入れて、ぶつけて取れるようにしていきたいですね。

○ボールの蹴り方

ボールをミートして蹴ることがまだまだできていません。カラダを全身使ってそのバネや反動で蹴る、ボールをしっかり見て捉える、そんな個人技術は自分のものにするためには時間がかかるので、自主トシでリフティング以外にもボールを蹴り込む練習をしてほしいですね。

保護者の皆様には道が凍結して大変な運転、そして寒い体育館の中でのあたたかい子どもたちへの応援をありがとうございました。練習に多く参加している子は技術が向上していますので、土日の練習や平日の特練などに是非参加してください。

常葉 SSS さん、この時期の開催は感染予防対策や開催判断が難しく、大会が終わった後も参加者のコロナ感染が心配されますが、何事も無く終えることができたので本当

に感謝いたします。また、お互いに切磋琢磨して子どもたちのサッカー技術の育成に努めていきましょう。

今は自粛期間ですが、再開に向けて各自で準備することは沢山あります。アーレの練習会が無くても、コロナ感染予防対策をして、自分ができる自主トレに励んで欲しいと思います。他のチームは自粛せずに活動しているようですが、アーレは子どもたちへの安全を第一に考えていますので、この自粛期間はこれから長いサッカー人生において数秒の時間程度ですので、今は我慢のステイホーム！で過ごしましょう。

コロナの早い収束を願うばかりです・・・。

コーチ：設楽





お父さんたちも中学生の大会に出場してくれました。急なお誘いにご協力をいただきありがとうございました。

